

2年 音楽 週1時間

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- みんなで音を出すことの楽しさを体験し、音や音楽に対する関心をもち、豊かに音楽を感じる心を育む。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取って表現するための基礎となる、発声の仕方や楽器の奏法などを身に付け、表現する。
- 日本の心の歌や日本の伝統的な音楽、和楽器に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本人の心を感じ、表現する態度を養う。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	内容	達成目標（ねらい）
1	4	歌唱「夏の思い出」	・歌詞の内容を理解して、曲にふさわしい表現を工夫する。	・歌詞が表す情景や心情と曲想を感じ、曲にふさわしい表現を工夫する。
	5	アルトリコーダー 「アメージンググレイス」	・アルトリコーダーの低い音の奏法を習得する。	・アルトリコーダーで低い音を出すための息の入れ方と運指を習得する。
	6	鑑賞「交響曲第5番『運命』」	・動機や主題の反復や変化、ソナタ形式に注目して名曲「運命」のよさを味わう。	・動機やソナタ形式による作曲方法に関心の持ち、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
	7	合唱 課題曲「時の旅人」	・各声部の役割や音の重なり方の特徴を感じ取り、意欲的に表現する。	・生の演奏の音の響き、各曲に対する関心をより一層深める。
2	9	混声合唱 課題曲・自由曲	・合唱コンクールに向けて、クラス一丸となって課題曲、自由曲を豊かに歌う。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて関心を持ち、歌唱表現を工夫する。
	10	箏「荒城の月」	・日本の伝統的な音楽に興味をもち、後押しの奏法を用いて弾く。	・声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。
	11	鑑賞「勸進帳」	・日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう。	・箏の奏法を理解し、音色の変化を味わう。
	12	器楽 アルトリコーダー 「中級課題」	・アルトリコーダーでアンサンブルの楽しさを味わおう。	・声や楽器の音色、言葉の抑揚、旋律、速度、リズムなどの特徴を感じ取り、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
3	1	鑑賞「歌劇『アイダ』」	・独唱、合唱、オーケストラと曲想との関わりを見て聴いて味わう。	・音の混ざり合いと曲の構成を理解して音を合わせる。
	2	歌唱「日本の歌」	・歌詞の内容を理解して、曲にふさわしい表現を工夫する。	・独唱、合唱、オーケストラが生み出す特質や雰囲気を感じ、根拠をもって批評する。
	3	器楽：ギター 「中級課題」	・ギターの基本的な奏法を習得する。	・歌詞が表す情景や心情と曲想を感じ、曲にふさわしい表現を工夫する。
				・楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解し基礎的な奏法を身に付ける。

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ・正しい奏法で演奏することができる。 ・基本的な発声法で、豊かに声を響かせて歌うことができる。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
思考・判断・表現	・音楽を形づくっている8要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ・知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱や器楽表現を創意工夫している。 ・音楽を形づくっている8要素を知覚し、知覚したことを感じて、まとまりのある創作表現を創意工夫している。 ・楽曲の時代背景やその特徴をとらえ、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって鑑賞している。	・授業プリント ・実技テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に興味をもち、主体的、協働的に表現する活動に取り組んでいる。 ・主体的、協働的に音楽を鑑賞し、学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 ・提出物 ・授業プリント ・定期考査

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・教科書2冊、マイソング、ファイル、アルトリコーダー、筆記用具の忘れ物をしない。（すべてバッグに入れてロッカーに置いておく。）
- ・積極的に授業を受け、授業中に私語をしない。
- ・課題に前向きに取り組む。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・歌唱、合唱曲については歌詞を読み、歌詞の理解を深める。
- ・鑑賞した楽曲などは背景や特徴について調べ学習をする。
- ・ワークシートや教科書を使って復習をする。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・授業で配布されたプリントを覚える。
- ・歌詞や作詞作曲者、音楽用語などの基本的事項を覚える。
- ・音楽を形づくっている8要素について理解をして覚える。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・歌うことが苦手、リコーダーが苦手など、苦手意識をもっている人は、失敗や間違いを恐れずに何度も練習しましょう。できないことを隠すのではなく、積極的に授業で質問してください。どこでつまづいているのか分かれば、アドバイスすることもできます。
- ・上手な人の近くで練習するのも良い方法です。
- ・苦手な人ほど積極的に前向きに授業に取り組みましょう。